

## 令和4年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立山王小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICTの活用を積極的に行うことで、実物がない場合でも知識の定着を図ることができた。
- ・考える根拠を明らかにさせ、「目的や手段」や「原因と結果」、「事実とその理由」「地理的・時間的な移り変わり」などの関係から考えさせる発問を行ったことで、分かったことを比較したり関連付けたりして考えることができるようになってきている。

#### (2) 課題

- ・必要な資料が用意できていなかったり、必要以上に資料を準備してしまったりすることで、児童の思考を混乱させていることがある。
- ・学習したことに対して、自ら課題を見出したり、自分なりの考えをもって表現したりすることに課題がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

|      | 令和4年度結果   | 令和3年度結果   | 令和2年度結果 |
|------|---|---|---------|
| 第4学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「知識・技能」<br/>目標値よりも8ポイント、全国と区の平均正答率よりも6ポイント以上上回っている。</li> <li>○「思考・判断・表現」<br/>目標値の正答率から10ポイント上回っており、良好と言える。</li> <li>○「主体的に学習に取り組む態度」<br/>目標値、全国・区平均正答率より4ポイント以上上回っている。</li> </ul> | /   | /       |
| 第5学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ほとんどの領域において目標値と同等、上回っている。</li> <li>○グラフから読み取る問題では、10ポイント程度上回っており、技能の定着が見られる。</li> <li>○資料から災害時の活動とその理由を表現する問題は、目標値を</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全領域において、目標値、前年度、全国正答率の全てを上回っている。</li> <li>○ほとんど全ての内容で目標値を大きく上回っている。ただし、目標値と同値の内容が5項目あった。</li> </ul> | /       |

|      |   |   |  |
|------|---|---|--|
|      | 下回った。   |   |  |
| 第6学年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全領域において、目標値、前年度値、全国正答率を上回っている。</li> <li>○「日本の国土と人々の暮らし」についての理解度が高く、区の平均正答率を17ポイント上回っている。</li> <li>○全領域、全問題において校内前年度正答率、区正答率、全国正答率を上回っており、理解度の高さがうかがえる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全領域において、目標値、前年度、全国正答率の全てを上回っている。</li> <li>○「先人のはたらき」について理解度が高く、前年度値を14ポイント上回っている。</li> <li>○「ごみのしよりと利用」について、目標値を0.4ポイント下回っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体を通して目標値を8ポイント上回っている。</li> <li>○「学校のまわりの様子」についての理解度が高く、目標値を10ポイント上回っている。</li> <li>○ほとんど全ての内容で目標値を1ポイント以上上回っている一方で、「安全な暮らし・交通事故や事件」の内容のみ、目標値を6ポイント下回っている。</li> </ul> |

(2) 分析 (観点別)

① 中学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取りの問題は、ほとんどの問題で5ポイント以上上回っており、技能の定着が見られる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全な暮らし」のみ、目標値を2ポイント程度上回るのみであり、比較的低い数値になっている。考えを表現する点に課題があると考えられる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの領域において目標値を上回っているため、概ね良好と言える。</li> </ul> |

② 高学年

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取りの問題は、ほとんどの問題で10ポイント程度上回っており、技能の定着が見られる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の正答率を上回っており、概ね良好といえるが、資料から災害時の活動とその理由を表現する問題は、目標値を下回っていた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの領域において目標値を上回っているため、概ね良好と言える。</li> <li>・地図の縮尺から距離を読み取る問題について、目標値を0.1ポイントしか上回っていないことから、苦手な児童が多いと考えられる。</li> </ul> |

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 中学年

| 知識・技能  | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全な暮らし」、「暮らしの移り変わり」の学習において、交番の役割や道具の</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全な暮らし」等の学習の中で、資料から読み取ったことを話し合ったり、そ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全な暮らし」等の学習の中で、学習したことと生活の結びつきを実感でき</li> </ul> |

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>役割、工夫について、実際に警察の方の話を聞いたり、道具を使ったりするなどの体験を通して、より理解を深めていく。</p> | <p>れを基に自分の考えを表現したりするなどの場を意図的に設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の実態に応じて、適切な質と量の資料を準備し、児童が自分の考えを的確にもてるようにする。</li> </ul> | <p>るようにするとともに、新たに課題を見出して解決していくような学習の流れを工夫する。</p> |
|--|--|--|

(2) 高学年

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の縮尺、地図記号、実際の距離等を正確に読み取れるようにする。</li> <li>・資料を読み取り、判断する力を身に付けられるようにする。</li> <li>・ICTの活用等により、高いポイント水準を保つことができているため、今後も継続していく。また、前年度も課題であった具体物を用いて知識の定着を図ることについては、児童の混乱を招かないよう、内容を精査しながら行っていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・考える根拠を明らかにさせ、「目的や手段」や「原因と結果」、「事実とその理由」「地理的・時間的な移り変わり」などの関係から考えさせる発問を行う。</li> <li>・資料に着目し、読み取ったことを適切に表現する力を付けられるようにするために、取り組みとその理由も考えられるように発問を工夫する。</li> <li>・学年の実態に応じて、適切な質と量の資料を準備し、児童が自分の考えを的確にもてるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者との主体的な意見交流が行えるよう、視覚的に内容を理解できるような教材を用意することで、児童の主体的な態度を養う。</li> <li>・課題の提出の仕方について、ノートやワークシートのみならず、タブレット端末のコンテンツを活用し、書くことに苦手意識をもつ児童も主体的に学習に取り組めるようにする。</li> </ul> |